

戸田市 施策評価シート

作成日	令和元年 5月31日	作成者名	新井 俊行	評価者名	栃本 由兼
-----	------------	------	-------	------	-------

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	03 安心して安全に暮らせるまち	中心となる課	消防本部・消防本部警防課
分野	01 消防・救急	関係課	消防署・消防第1課
施策	29 救急体制の充実		消防署・消防第2課
			消防署・消防第3課
施策の目的	救急救命士の専門的な教育制度を充実させ、救急における市民の救命率向上を図るため、救急体制の充実を図ります。		

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	救急業務費
取り組み②	
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
バイスタンダーによる応急手当実施率	心肺機能停止傷病者に対する、バイスタンダーによる応急手当の実施率	%	50	45	45.9	37.9	43.8		
救急協力事業所表示制度の認定数	同表示制度の認定数	件	130	50	68	128	133		
特定行為取得者数	救急救命士数に対する特定行為取得者数	%	85	41	78	91	93		
その他施策の取組事項に係る成果									

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	救命講習に関する市民の積極的な参加と、市内の事業所などに設置されているAEDを市民誰もが使用できる環境づくりが重要である。 その他、救急救命士が行う特定行為において、「心肺停止前の重度傷病者に対する静脈路確保と輸液」及び「血糖測定並びにブドウ糖投与」が新たに加わったことから、早期に救急救命士全員がこれら救命処置を行う資格取得のための教育環境を整えることが課題である。	対応策	各種救命講習の受講者数増加を図り、心肺機能停止状態の傷病者に対し近くに居合わせた人（バイスタンダー）による応急手当の実施率を向上させる。また、市内の事業所等に設置されているAEDを市民誰もが使用できる環境作りを進めるとともに、更なる救命率の向上を目指し市内のコンビニエンスストアへAEDを設置し、24時間365日AEDが使用できる環境を構築する。 その他、新たに救急救命士が行う特定行為に加わった、「心肺停止前の重度傷病者に対する静脈路確保と輸液」及び「血糖測定並びにブドウ糖投与」の資格取得を計画的に進める。
----	---	-----	--

○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	バイスタンダーによる応急手当の実施率が昨年度より増加したが目標値を達成するよう更に応急手当の普及啓発活動を積極的に進める。市内コンビニエンスストアへのAED設置及び24時間365日AEDが使用できる環境の構築を図り目標値である認定数を達成した。救急救命士の新たな資格取得は、教育計画に基づき進めることができ目標値を達成した。
B		
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	事務事業の細分化を検討し効率的に業務を進めていきたい。 また、受講者の増加に伴い講習に係る経費も増加傾向にあるが、厳しい財政状況を考慮し適正な予算執行に努めていきたい。
→		

(評価者コメント)

平成27年度から進めている救急協力事業所表示制度の認定数も順調に伸びており、今後も身近な場所で市民誰もがAEDを使用できる環境の整備を図っていく。また、平成29年7月からは市内コンビニエンスストア全店にAEDが配備され、更なる救命率の向上を図る環境が構築出来た。バイスタンダーによる応急手当の実施率が減少したため、応急手当の普及啓発活動を積極的に進め、バイスタンダーによる応急手当実施率の向上を目指したい。

戸田市 施策評価シート

作成日	令和元年 5月31日	作成者名	新井 俊行	評価者名	栃本 由兼
-----	------------	------	-------	------	-------

5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果								★事務事業の方向性			R 2 予 算 額	事業費 うち 一般財源			
		事業コード		事業区分	H30決算額	事業の方向性	実施計画候補	評価結果				事業の方向性	実施計画候補	施策内優先度			コメント		
		事業内容			R1予算額			施策への貢献度	経費水準	事業手法	受益・負担の公平性								
					事業費														
		R2計画額	うち一般財源	人件費															
08 救急業務費 (消防本部総務課)																			
	01	救急業務費		12,110	1	○	A	A	A	A	1	○	義			0			
	01	09	01	01										08	01	12,638			
	通常搬送業務の他、市民の救命率を向上させるために、救		13,155																
	命率を向上させるために、救		8,042																
				3,070							0								
xx 救急医療機関との連絡調整事業 (消防本部総務課)																			
	00	救急医療機関との連絡調整事業		0	1		B	B	A	B	1		義			0			
	01	xx	xx	xx										xx	00	0			
	救急現場において心肺停止状態の患者に対し、救急救命士		0																
			1,706															0	
計 (千円)				事業費	12,110	12,638	13,155	0											
				うち一般財源	12,110	8,962	8,042	0											

事業の方向性： 1 現状で継続 2 拡大して継続 3 縮小して継続 4 他事業と統合 5 休止 6 その他見直し
 7 令和2年度で終了 8 令和元年度で終了 9 平成30年度で終了